

『2009 年上半期（1月～6月）JVA統計調査』について

当協会は9月8日(火)午後1時30分より、協会会議室において『2009 年上半期（1月～6月）JVA統計調査結果』について記者発表会を開催しました。当日の出席者は、木村康詩統計調査委員会委員長(株)ポニーキャニオン営業本部レンタル営業部長)、肥田幹夫管理部長、上田直子管理部次長兼広報課長。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2009 年上半期の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、同調査の詳細な結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.68』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

詳細については、広報課上田まで(03-3542-4433)、もしくは協会ホームページ「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以上

2009 年上半期（1月～6月）の実績について

今期の統計から、HD DVD を調査の対象外とした。2008 年においてはブルーレイの実績に HD DVD の分を含ませ、「ブルーレイ（HD DVD を含む）」という形で数値を発表していたが、今期よりブルーレイのみの数値とした。これに合わせ、ブルーレイの前期比、前年同期比の算出で使用したそれぞれの期の値からも HD DVD 分を除き、ブルーレイのみの数値を用いて比較している。さらに、ビデオソフトの合計値についても、前期比、前年同期比の算出のために使用した値は、当該期の HD DVD の値を差し引いたものを使用している。

また、ジャンル分けを変更し、『ゲーム』を削除、このジャンルの売上実績については『その他』に含むこととした。

1．今期のビデオソフトの総売上は1277億3100万円で前年同期比90.3%となった。ビデオソフトの総売上金額のうち、DVDビデオが93.1%と大半を占めているが、ブルーレイが6.6%となり、前年同期の構成比1.6%から伸長した。ビデオカセットは0.1%、UMDが0.2%となった。

2．DVDビデオの売上金額は1189億4200万円で、前年同期比85.6%と1割以上の落ち込みとなった。流通チャネル別売上金額では、「販売用」が739億0900万円で前年同期比

82.2%となり落ち込みが目立つ。「レンタル店用」は449億2900万円で同92.4%、「業務用」が1億0400万円で同22.6%と、それぞれの流通チャンネルにおいて前年同期を下回ることとなった。売上金額の構成比は「販売用」が62.1%、「レンタル店用」が37.8%、「業務用」が0.1%だった。

3. DVDビデオの「販売用」売上金額をジャンル別に見てみると、構成比30.4%を占める『日本のアニメーション(一般向け)』が前年同期比91.2%、構成比19.9%を占める『音楽(邦楽)』が同91.5%となり、シェア1位、2位のジャンルが前年同期を割り込んだ。これに対し好調であったのが『日本のTVドラマ』で、前年同期比113.6%で二桁の伸びとなり、構成比も9.7%で第3位に上昇した。続く『邦画(TVドラマを除く)』は前年同期比73.0%、さらに『洋画(TVドラマを除く)』は同47.3%と半減し構成比を5位にまで落とした。

数量では、金額同様に『日本のアニメーション(一般向け)』が構成比24.1%で1位となっているが、2位は『洋画(TVドラマを除く)』で同20.1%となっており、このジャンルの単価の低さが目立つ(ちなみに金額を数量で割って求めた単純単価は@1,189円)。一方、金額で3位であった『日本のTVドラマ』は数量では構成比4.0%で7位であり、『洋画』とは反対に単価の高さが目立つ(単純単価は@7,816)こととなった。

4. DVDビデオの「レンタル店用」の売上金額をジャンル別に見てみると、『洋画(TVドラマを除く)』が前年同期比78.2%、『日本のアニメーション(一般向け)』が同88.1%、『アジアのTVドラマ』が同86.4%と前年同期を下回ることとなったが、反対に『海外のTVドラマ』が同101.8%、『邦画(TVドラマを除く)』が同104.2%、『日本のTVドラマ』が同126.2%と前年同期を上回った。構成比の順は前年同期と変化はなく、『洋画(TVドラマを除く)』『日本のアニメーション(一般向け)』『海外のTVドラマ』『邦画(TVドラマを除く)』『アジアのTVドラマ』『日本のTVドラマ』となった。

5. ブルーレイの売上金額は84億4300万円でソフト全体の売上金額の中では6.6%の構成比となるが、前年同期比は386.8%と4倍近い伸長となり、報告社数も前年同期の17社から30社に増加した。

売上金額の91.8%を「販売用(個人向け)」が占め77億5200万円だった。これをジャンル別に見ると、『日本のアニメーション(一般向け)』が56.6%を占め(前年同期比939.2%)、次いで『洋画(TVドラマを除く)』が23.8%(同140.9%)で、この二つのジャンルで全体の80.4%を占める。

「レンタル店用」は6億8500万円でブルーレイ全体の売上金額の8.1%となった。回答社数は10社だった。売上金額の44.8%を『洋画(TVドラマを除く)』が占め、32.7%を『日本のアニメーション(一般向け)』が占めている。

以 上